

平成29年度 特別会計予算

討 論

●情報センター事業特別会計
予算
総額は2億8163万円。
前年度比で437万円、1・6%の増額。主な要因は、昨年度よりの起債の元金償還による公債費の増加。

可決（多数）

Q 藤本 岩義議員

インターネット通信は利用者増の予想。増えるとネットの速度が落ちるが、対策は。

A 松本 情報防災課長

来年度から上位プロバイダーの切り替えを図った結果、費用は据え置きで、今とは比較にならないサービス環境の契約ができる見込みとなったが、動画利用が多くネットの速度を落としている現状は、今後も続くと思われるので、その対応はしていく。

反対 宮地 葉子議員

この事業は、一般財源を圧迫するというところで、設立当初から反対してきた。今回も、赤字が解消されず一般財源が積み込まれているので反対する。



情報サービス事業の
ロゴマーク

●住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
総額は413万円。前年度比で104万円、20・2%の減額。主な要因は、公債費及び現年度貸付金の償還が進んだこと。

可決（全員）

●宮川奨学資金特別会計予算
総額は2087万円。前年度比で148万円、7・7%の増額。主な要因は、申込者の増。

可決（全員）

●給与等集中処理特別会計
算
総額は15億3862万円。
前年度比で477万円、0・3%の減額。主な要因は、共済費追加費用の率の見直しによるもの。

可決（全員）

●国民健康保険事業特別会計
予算
総額は22億9972万円。
前年度比で2377万円、1・0%の減額。主な要因は、平成27年度の医療費の減少に伴い、その2年後の今年度に見込まれる前期高齢者交付金の減額。

平成28年度も単年度収支は黒字見込みだが、累積赤字分の繰上充用が見込まれるなど、国保会計は依然として大変厳しい状況のため、昨年度に引き続き、一般会計から6千万円の法定外繰入を行うとしている。

可決（全員）

●国民健康保険直診特別会計
予算
総額は8599万円。前年度比で265万円、3・2%の増。

可決（全員）

の増額。主な要因は、災害用備品の購入等。

可決（全員）

●介護保険事業特別会計予算
総額は17億968万円。前年度比で5222万円、3・2%の増額。主な要因は、町内の介護施設の高台移設予定への補助金の計上。

可決（全員）

●介護サービス事業特別会計
予算
総額は1677万円。前年度比で137万円、8・9%の増額で、前年度と同様の予算。

可決（全員）

●後期高齢者医療保険事業特別会計
予算
総額は1億9328万円。
前年度比で456万円、2・4%の増額。主な要因は、医療費適正化等推進事業委託費や、後期高齢者医療広域連合納付金の増。

可決（全員）

Q 森 治史議員

医療費適正化等推進事業委託の内容は。

A 藤本 住民課長

内容は、高齢者の低栄養防止・重症化予防の推進。
高齢者にとって低栄養は、持病などの重症化などにつながり、在宅介護を困難にする原因の一つになっている。

このため、高齢者検診受診者のデータを基に30人を抽出し、専門職、薬剤師、あったかふれあいセンターが連携し、保健指導を行うもの。

●農業集落排水事業特別会計
予算
総額は3737万円。昨年と同様の予算。

可決（全員）

●漁業集落排水事業特別会計
予算
総額は536万円。昨年と同様の予算。

可決（全員）

●水道事業特別会計
予算
総額は2億4271万円。
主な工事は、佐賀簡易水道の配水管の更新、耐震化。国道56号大方改良事業に伴う上水道基幹配水管の布設工事となっている。

可決（全員）